

題 名 那覇空港自動車道（南風原南 IC～豊見城 IC）の 4 車線化開通に向けた  
走行車線切替作業について（事例紹介）

南部国道事務所 那覇空港自動車道出張所

◎出張所長 たましろ しげや  
玉城 茂也

○管理係長 い さ みつる  
伊佐 充

1. 目的

那覇空港自動車道は、沖縄自動車道と一体となって沖縄本島北部及び中南部から、那覇空港間の定時制、高速性を確保するとともに、都市部の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図ることを目的とする、自動車専用道路である。

那覇空港自動車道の豊見城東道路は、暫定 2 車線（上り線側）の対面通行による供用であった。

今回、『平成 25 年度豊見城東道路舗装・506 号維持工事』にて、豊見城東道路の南風原南 IC～豊見城 IC 間の延長約 3.5 km について、平成 25 年度末に 4 車線化開通を行った。

本工事に伴い、走行車線の切替作業を 3 度実施したので、事例紹介する。

2. 内容

走行車線の切替作業について、完成までの進捗は以下のステップで実施した。

①平成 26 年 2 月 21 日（金）0 時～：上り線側の金良地区において、土工部の舗装打替え工事を行うため、上り線側 2 車線での対面通行から、下り線側 2 車線への対面通行に切替を行った。

②平成 26 年 3 月 24 日（月）0 時～：下り線側での対面通行を、上下線それぞれの走行車線（第 1 通行帯）1 車線への切替を行った。

③平成 26 年 3 月 31 日（月）5 時～：上下線それぞれの走行車線（第 1 通行帯）1 車線での通行を、完成 4 車線化開通への切替作業を行った。

車線切替作業に伴い、所轄警察との事前協議、切替日時について道路利用者への事前告知（記者発表、道路情報板での予告表示、ラジオ放送等）を実施し、車線切替に伴う一般車両等の交通事故発生の防止を行った。

3. 結論

以上の通り、3 度にわたる走行車線の切替作業を実施したが、安全に留意して作業を行った結果、切替期間中での交通事故（運転者が原因である交通事故は除く）は発生すること無く、計画通り平成 25 年度末に 4 車線化通を行うことができた。

4. 今後の問題点

今年度中には、豊見城東道路の豊見城 IC～豊見城・名嘉地 IC 間の延長約 2.4 km について、4 車線化開通を行う予定である。

今回の切替作業を参考にし、事務所・受注業者・関係機関等と調整を行い、計画通りに工事を完了できるように進めて参りたい。